



伊興中だより

令和6年4月13日 No1

足立区立伊興中学校
校長 森田 卓司

令和6年度のスタートに寄せて ～最高（さあ ico）で最幸の伊興中を創ります～

校長 森田卓司

3月の寒さに耐えた彰風園の桜は、盛りを過ぎてはなお、誇らしげに咲き誇っています。そのような中、令和6年度がスタートしました。私は、このたび、千葉千登勢前校長の後任として、区内加賀中学校よりまいりました森田卓司と申します。皆様との出会いを縁あっての必然と受け止め、生徒・保護者・地域の皆様のため、そして伊興中学校の発展のため、精一杯、最善の努力を重ねる所存ですので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

始業式を先日8日に実施しました。2年生181名、3年生185名の生徒の皆さん、進級おめでとうございます。元気のいいあいさつがしっかりでき、きちんと人の話が聴ける生徒と感じました。上級生として、伊興中の伝統を受け継ぎ、それぞれの夢や希望の実現に向けて日々精進しましょう。皆さんのさらなる努力と栄光を期待しています。

翌日9日には、205名の新入生が本校に入学し、伊興中学校の一員となりました。改めまして、ご入学おめでとうございます。緊張した中にも、これから始まる中学校生活への意欲が感じられ、清々しい気持ちに感じさせてくれました。今日の気持ち＝「初心」を忘れずに充実した中学校生活を送る努力を重ねていくことを期待しています。

【始業式で生徒に伝えた話（抜粋）】

伊興中学校には、「進んで学ぶ生徒」「心豊かな生徒」「たくましい生徒」という教育目標が定められており、この目標の下に様々な教育活動が行われています。そして今回、この目標とは別に、生徒の皆さんが様々な活動をする中で意識して欲しい言葉としての校訓を定めました。それは『錬磨（れんま）』です。この言葉の意味は、「実力や精神力を高めるために厳しい練習を繰り返すこと」（三省堂例解新国語辞典）とあります。自分の夢や目標を実現させるために、自分に負けずに自分を鍛え、自分を磨き、さらに仲間同士で磨き合うことです。皆さんには、様々な可能性があります。己を鍛え磨くことで初めて、その可能性が豊かになり広がっていきます。4月はリスタートができる月でもあります。過去は変えられないけど、未来をより良いものにするためにも、今日の気持ちと決意を大切に、皆さん自身でより良い未来を創ってください。

【入学式で新入生に伝えた話（抜粋）】

- ①3つのC(Chance 今が変わるとき, Change 変わる事, Challenge 挑戦すること)を大切に。入学の今が新しい自分に変わるチャンス。何事にも失敗を恐れず挑戦する気概が大事。
- ②「制服は 未来のサイズ入学の どの子どもどの子ども 未来着ている」(俵万智さんの歌を紹介して)皆さんの未来は皆さんの手の中にあります。輝かしい未来を自身の手で創りましょう。

伊興中学校を、次のような学校にするために、教職員一丸となって全力を尽くします。今後とも、どうぞ、よろしくお願いいたします。

- ・あいさつがこだまする学校
 - ・「今日が楽しく、明日が待ち遠しい」と思える学校
 - ・生徒も教職員も、他者を認めあい、笑顔あふれる学校
 - ・生徒も教職員も、自己を鍛え、磨き合い、共に成長する学校
- 『最高（さあ伊興）の学校に学び、最幸の中学校生活を送る伊興中生』